

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び部局・課名	公益財団法人 茨城県看護教育財団	保健医療部医療局医療人材課
改革遂行責任者	理事長 小林 栄	保健医療部長、医療人材課長、総務部長、出資団体指導監

改革方針	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>【1 財団のあり方の検討】</b> ○アクションプランに基づく運営改善  ○アクションプランの評価検証と新プランの策定(令和4~8年度)  ○公益的事業の実施	アクションプラン(5カ年計画)の実施(H29~R3年度)			
				・現行アクションプランの評価 ・新アクションプランの策定
	地域看護職員向けの研修の実施(70名以上の参加)			
	[72名参加]	[109名参加]	[新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし]	[211名参加]
<b>【2 学生定員の確保】</b> ○学生募集活動の強化 ・学校訪問の強化 ・市広報紙の活用強化、ホームページ充実、オープンキャンパスの充実等積極的なPR ・校章の活用、ポスター、パンフレットの改善など学校イメージアップの取組 ・インターネットを活用(インドアビュー)した学校紹介	アクションプランに基づく入学定員の安定的確保策強化(H29~R3年度)			
	[41名入学/40名定員]	[41名入学/40名定員]	[41名入学/40名定員]	[41名入学/40名定員]
<b>【3 財政状況の安定、自主財源比率の向上】</b>  ○安定的な収入の確保 ・自主財源比率((経常収益計-受取補助金等振替額-(補助金収益計-高等教育の修学支援新制度授業料減免交付金))/(経常収益計-受取補助金等振替額)の維持 ・事業の効率化による需用費の縮減	自主財源比率75%を維持			
	[自主財源比率 80.9%]	[自主財源比率 80.7%]	[自主財源比率79.7%]	[自主財源比率81.3%]
	需用費の抑制(平成28年度実績以下)			
	[H30年度実績: 11,041千円] <H28年度実績: 7,393千円> [H28年度比49.3%増]	[R1年度実績: 6,030千円] <H28年度実績: 7,393千円> [H28年度比18.4%減]	[R2年度実績: 7,213千円] <H28年度実績: 7,393千円> [H28年度比2.4%減]	[R3年度実績: 6,505千円] <H28年度実績: 7,393千円> [H28年度比12.0%減]
<b>【4 看護教員の確保】</b> ○専任教員の確保 ・きめの細かい教育の実現  ○資質の高い看護師の養成 ・看護師国家試験合格率(新卒者)	財団採用の専任教員1名以上の確保と維持			
	[専任教員1名確保(累計)]	[専任教員2名確保(累計)]	[専任教員2名確保(累計)]	[専任教員2名確保(累計)]
	当該年度の県平均以上を維持			
	[合格率97.1%(県平均93.4%)]	[合格率97.4%(県平均92.7%)]	[合格率100%(県平均94.8%)]	[合格率100%(県平均95.5%)]

改革方針	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>【5 施設設備の老朽化対策】</b> 施設設備の適切な管理と計画的な修繕の実施	施設設備の点検と計画的な修繕			
	[高圧受電設備改修工事]	[防火設備改修工事] [衛生設備改修工事]	[図書室改修工事] [給湯設備改修工事] [校内通信環境整備工事] [学生ホール空調設備工事]	[給湯設備改修工事] [学生ホール空調整備工事] [学生ホール遮光工事] [多目的室空調整備工事]
<b>【6 進行管理の公表】</b> 県議会への報告とホームページによる公表	毎年度の進行管理の結果を県議会に報告するとともに、ホームページ等で公表			
	[H30.6月 県議会報告] [H30.6月 ホームページ公表]	[R1.6月 県議会報告] [R1.6月 ホームページ公表]	[R2.6月 県議会報告] [R2.6月 ホームページ公表]	[R3.6月 県議会報告] [R3.6月 ホームページ公表]

※注 ◆-- [ ] は対応時期(◆)が明確な事項を表示

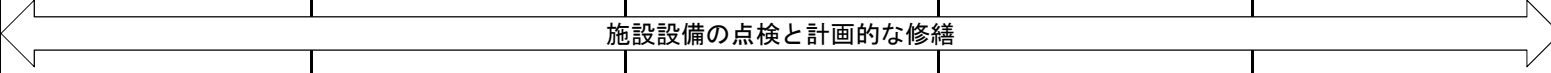
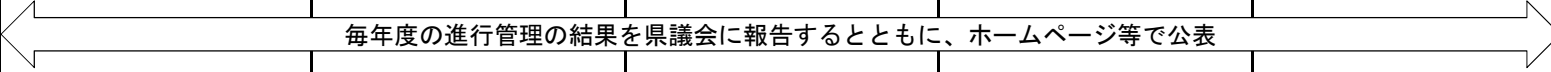
⇔ は改革期間及び推進事項を表示



[ ] は目標達成状況を表示

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び 部局・課名	公益財団法人 茨城県看護教育財団	保健医療部医療局医療人材課
改革遂行責任者	理事長 小林 栄	保健医療部長、医療人材課長、総務部長、出資団体指導監

改革方針	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
<b>【1 財団のあり方の検討】</b> ○アクションプランに基づく運営改善  ○アクションプランの評価検証と新プランの策定  ○公益的事業の実施	アクションプラン(5カ年計画)の実施(R4~8年度)				
					・現行アクションプランの評
	地域看護職員向けの研修の実施(70名以上の参加)				
<b>【2 学生定員の確保】</b> ○学生募集活動の強化 ・学校訪問の強化 ・市広報紙の活用強化、ホームページ充実、オープンキャンパスの充実等積極的なPR ・校章の活用、ポスター、パンフレットの改善など学校イメージアップの取組 ・インターネットを活用した学校紹介	アクションプランに基づく入学定員の安定的確保策強化(R4~8年度)				
<b>【3 財政状況の安定、自主財源比率の向上】</b>  ○安定的な収入の確保 ・自主財源比率((経常収益計-受取補助金等振替額-(補助金収益計-高等教育の修学支援新制度授業料減免交付金))/(経常収益計-受取補助金等振替額))の維持 ・事業の効率化による需用費の縮減	自主財源比率75%を維持				
	需用費の抑制(令和3年度実績以下)				
<b>【4 看護教員の確保】</b> ○専任教員の確保 ・きめの細かい教育の実現  ○質の高い看護師の養成 ・看護師国家試験合格率(新卒者)	財団採用の専任教員1名以上の確保と維持				
	当該年度の県平均以上を維持				

改革方針	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
<b>【5 施設設備の老朽化対策】</b> 施設設備の適切な管理と計画的な修繕の実施	 施設設備の点検と計画的な修繕				
<b>【6 進行管理の公表】</b> 県議会への報告とホームページによる公表	 毎年度の進行管理の結果を県議会に報告するとともに、ホームページ等で公表				

※注  は対応時期(◆)が明確な事項を表示、  
 は改革期間及び推進事項を表示